

ふくしまの森林文化調査カード

No.48

県 HP公開の可否 (  可 ・ 否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 天然マツ	(ふりがな) てんねんまつ	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	津島マツ(ふくしまの森林をつくる樹木)		
伝承地域	双葉郡浪江町の旧津島村梶平付近に生育する天然マツは、「津島マツ」と呼ばれ、全国に名高い。		
由来(年代)	津島マツは、藩政時代には大径木が將軍家の建築用材として献上され、良質木は「帳付松」として伐採が禁止された。		
内容	<p>津島マツはアカマツの地域品種である。</p> <p>津島マツは、白亜紀前期花崗岩を母岩とする地帯に生育している。鉱物質土壌で実生更新がなされることから、天然スギ同様地表攪乱に依存していると見ることができる。塩浸(しおびて)林道脇の露頭には花崗岩が風化した砂礫「マサ」が観察でき、その近辺ではマツの実生密集が見られる。</p> <p>歴史のある津島マツだが、樹齢何百年という大径木は既にほとんど伐採され、今は尾根筋にわずかに見られるだけである。梶平国有林内に津島マツの林木遺伝資源保存林3.43haがあり保護されている。塩浸(しおびて)林道入口付近には展示林が設定され、適切な施業が行われた津島マツ林を見ることができる。津島マツの特徴として、枝が枯れあがって枝下高が高く枝も細いこと、樹冠が小さいこと、樹幹が通直・完満でマツヤニが少ないこと、さらに年輪が均一で緻密、心材の色が美しく材は軽軟で工作しやすいことを挙げることができる。</p>		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	林木遺伝資源保有林		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 浪江町教育委員会(Tel:0240-34-0253)		

【フリーフォーマット】

キーワード



真砂土の実生マツ(浪江町塩浸)



林木遺伝資源保存林内の津島マツ(浪江町赤宇木)